



『死者の書』断簡 BC1世紀(推定)



絵巻『伊藤太』江戸時代前期



『世界図絵』チェコ版 1833年



世界ではじめての絵本美術館をつかった
松本猛さんが語る

絵本 歴史ものがたり

世界最大規模の絵本美術館・安曇野ちひろ美術館の設立者であり、美術・絵本評論家など多彩な活動をされている松本猛さんに、古代エジプトの『死者の書』までさかのぼり現代の子どもの絵本へいたる奥深い絵本の歴史、豊かな絵本表現について語っていただきます。



松本猛氏 まつもと・たけし <http://www.takeshi-matsumoto.jp/>

1951年生まれ。美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館を設立。同館館長、長野県立美術館長、絵本学会会長を歴任。著書『いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて』（講談社）、『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』（新日本出版社）、絵本に『ふくしまからきた子』（絵 松本春野 岩崎書店）、『白い馬』（絵 東山魁夷 講談社）など。

令和3年12月12日(日) 午後2時～4時 (開場 15分前)

会場：石神井図書館 2階会議室

対象：中学生以上

定員：30名(先着順)

申込：11月12日(金)より

メインカウンターまたは電話にて受付

石神井図書館 TEL.03-3995-2230

- 講演会の開催にあわせて、安曇野ちひろ美術館の四季折々の風景写真を紹介します。
石神井図書館 階段ギャラリー 令和3年11月30日(火)～令和4年1月23日(日)